

「持続可能な多世代共創社会のデザイン」 研究開発領域

領域総括：大守 隆（元 内閣府 政策参与／元 大阪大学 教授）

領域アドバイザー：石田 秀輝（合同会社地球村研究室 代表社員／東北大学 名誉教授）、岡部 明子（東京大学大学院新領域創成科学研究科 教授）、大和田 順子（一般社団法人人口ハス・ビジネス・アライアンス 共同代表／立教大学大学院21世紀デザイン研究科 兼任講師）、後藤 和子（摂南大学経済学部 教授）、西郷 真理子（株式会社まちづくりカンパニー・シープネットワーク 代表取締役）、相馬 直子（横浜国立大学大学院国際社会科学研究院 准教授）、服部 篤子（一般社団法人DSIA 常任理事）、藤江 幸一（横浜国立大学先端科学高等研究院 教授）、南 学（東洋大学経済学研究科公民連携専攻 客員教授）、村上 清明（株式会社三菱総合研究所 研究理事）、柳川 範之（東京大学大学院経済学研究科 教授）

■ 領域の概要

地球環境や少子高齢化、財政の制約など成熟社会の重層的な問題を見据え、環境と調和しながら多世代・多様な人々のWell-beingが持続的に成長できる社会をデザインする。

■ 領域が目指すもの

<目標>

- ・持続可能な都市・地域のデザイン提示
- ・多世代共創を促す仕組み
- ・統合的な成果の社会実装に向けたネットワーク構築



持続可能な社会の実現に向けて
子どもから高齢者まで
今生きる私たちが、
過去世代から何を学び、
未来世代に向けて、
どのような新しい価値を**共につくり**、
つないでいくのか

<明らかにしたいこと>

- ・多世代共創の意義・有効性とは？
- ・多世代共創のインセンティブは？
(特に若い世代)
- ・新技術の影響や含意とは？
- ・多世代共創が普及・定着するには？
- ・多世代共創を評価する指標とは？

<成果の活用イメージ>

- ・世代を超えた地域づくりのためのハンドブックや事例集
- ・SDGsや地方創生などの取り組みへの貢献

■ 領域における多世代共創

- ・同じ時代に生きている多世代(子供、若者、子育て世代、高齢者)の共創
- ・過去に生きていた世代や、これから生まれてくる世代との共創

これまでにわかったこと・課題



多世代共創は、

- (1)人々を巻き込む力を持つ。
- (2)高齢者を元気にし、若者にやる気を与える。
- (3)縦割り社会の弊害を補完する。
- (4)自分たちの取組みや地域の良さ・価値を見出すできる。

思いのほか、
地域で評判が
いい!

子育て支援と
高齢者支援の
悩みに共通点!?

斜めの関係
が重要!?

異なる立場や地域間の交流が新しい見方を提供する。

- (5)人々に「歴史の中での自分」を意識する機会を与える。

歴史と地域と自然に思いをはせ、子孫に思いをいたす。

持続可能性の議論を
自分事・私たち事にできる!?



プロジェクトを推進しながら、
領域としての成果をとりまとめ、発信していきます。

領域のリサーチ・クエスチョン(RQ)の検討とハンドブック等の作成



領域関係者が集う合宿や検討会を毎年開催。
多様な立場や専門的知見から、多世代共創の
意義や課題について議論を交わします。プロ
ジェクト実施者からは、実感のこもった意見が
次々と挙がります。

Facebookで現場の情報を発信

領域・プロジェクトの活
動やイベントを発信。
プロジェクトの現場に
サイトビギットすると、
協力者の方々から忌
憚のないご意見をいた
だくこともしばしば。百
聞は一見にしかず！

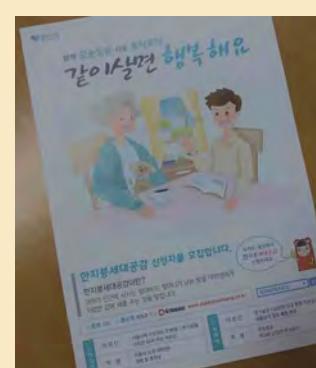


Facebookもチェック！



国際連携・発信に向けた調査

世代間交流を研究する米国・シンガポール
の研究者との交流や、国内外の多世代交
流・共創事例の調査を実施。



韓国ソウル市：高齢者
と大学生の多世代居
住の取組みを実施。

シンガポールの病院：
地域で人々が支えあうた
めの交流拠点を運営。